

会 議 録

会 議 名	第 2 2 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 1 3 回		
事 務 局	公民館貫井南分館		
開 催 日 時	平成 2 5 年 8 月 6 日 (火) 午後 3 時～午後 5 時		
開 催 場 所	学習室 C		
出 席 委 員	大嶋郁子委員、柿原朋子委員、小宮山とみ子委員、本多詮明委員、前川正治委員、森廣美委員		
欠 席 委 員	なし		
事 務 局 員	松本浩明主査、千賀義幸、永嶋汐美		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 公民館運営審議会に報告 (7月26日開催)</p> <p>2 公民館人事異動について (8月1日付け)</p> <p>3 (仮称) 貫井北町地域センター運営について</p> <p>4 各講座の報告と計画</p> <p style="padding-left: 2em;">〔報告〕成人学校「植物観察・富士山五合目」、成人学校「フォークサウンド弾き語り入門講座」</p> <p style="padding-left: 2em;">〔計画〕高齢者学級「けやき学級」、成人学校「江戸野菜に親しもう」、成人学校「フォークサウンド弾き語り入門講座」、成人学校 (仮称)「そば打ち体験」</p> <p>5 その他 月刊こうみんかん 10月号の原稿依頼について</p> <p>次回の日程 平成 2 5 年 9 月 3 日 (火) 午前 9 時 3 0 分時～ 学習室 C</p>		

審議経過（主な発言要旨等）

1 公民館運営審議会の報告（開催日 7月26日）

(1) 報告事項

ア 答申書の提出について

「(仮称) 貫井北町地域センター運営等について」の答申書が委員長から公民館館長へ提出された。

イ 活動報告書の提出について

小金井市社会教育委員の会議、小金井市図書館協議会、小金井市公民館運営審議会で作成した、「(仮称) 小金井市生涯学習支援センター機能の実現に向けて(提言)」(案)を公民館運営審議会の同意を得て、教育長宛てに提出することとなった。報告書の中に、第30期からの申し送り事項として、「地域住民への情報発信の充実」、「社会教育関係委員の連携の強化」、「地域の絆を育む事業の拡大」の三つに加えて、公民館への若者層参加の取り込みを加える。また、審議会のための基礎的な資料づくり(法的、三多摩テーズ、都公連、企画実行委員等をまとめたもの)を検討する。

ウ 都公連委員部会研修会について

8月24日(土)西東京市田無公民館において午前10時から正午にかけ、「災害時における公民館の役割と課題」というテーマで開催される。

エ 公民館事業の報告について

貫井南分館からは提出なし。東分館センターまつりについては、来館人数が1,250人と昨年比べて多かった理由について、昨年から実施した「キッズダンス」の参加者が多くなり、その分来館した保護者も増えたことと、公民館イベント「エバリーコンサート」の観覧者が100人超えをしていたことから、今回の来館者増に繋がったとの東分館主査から説明があった。また、公運審からは、チラシの裏面のサークル紹介がとても良いとの意見が出された。

オ その他 なし

(2) 審議事項

ア 公民館事業の計画について

貫井南分館からは、成人学校「植物観察・富士山五合目」と市民講座「そうなんだ日本の伝統芸能入門」を提出。本館の「市民がつくる自主講座」の選定基準について、基本的に前回実施した団体にはご遠慮いただいている。予算の配分については、各団体と調整を行っていて、全団体から了承を得ているとの説明があった。

イ 科学の祭典の内容について

9月8日(日)に、公民館運営審議会としては「糸電話」、「ストロー笛」、「浮かぶボール」を実施する。開催場所は、南講義棟S棟1階のS105室前となる。

次回の日程(予定) 9月13日(金)午前9時～ 第二庁舎801会議室

2 公民館人事異動について（8月1日付け）

本館庶務係主任の樋口太樹が資産税課土地係主任へ、後任として、高橋信康が保険年金課国保給付係主任から着任する。

3 （仮称）貫井北町地域センター運営について

（仮称）貫井北町地域センターの運営等についての公民館運営審議会から答申が7月26日に公民館長宛て提出されたことにより、教育委員会の議決等を経て、市の方針が決定された。そして、7月30日（火）には利用者懇談会を開催された。市の方針として、公民館運営についてはNPO法人に事業委託することとなる。事業内容については、他館との整合性をとり、講座の企画・実施等もNPO法人スタッフの他に企画実行委員を配置し運営を行うこととなる。委託先となるNPO法人設立については行政主導で行っており、8月3日（土）には発起人会、同月10日（土）にNPO法人設立総会が行われる予定。

4 各講座の報告と計画

【報告】

○成人学校「植物観察・富士山五合目」

7月23日（火）に実施。世界文化遺産登録直後となったため、混雑が予想されたがスムーズに進行できた。標高2千メートル付近は天候も急変しやすく、雲の動きに注意を払いつつ観察に臨んだ。森林限界ということもあり、散策している所から頂上を見上げると森林は無い状態となり、不思議な空間が広がった。高山植物は丁度見ごろを迎えた「ハクサンシャクナゲ」の群生は見応えがあった。応募は43歳から83歳まで63人と多数寄せられた。

○成人学校「フォークサウンド弾き語り入門講座」

今回で4回目となったこの講座は、名称を変えての開催となった。応募は定員15人に対して18人と前回までに比べると少なかった。受講生の年齢構成は、男性は平均47歳、女性は36歳、最低年齢は15歳、最高年齢は72歳なり異世代交流の場となった。対象を初心者としていたが、既に弾ける方が数人いて、本来のカリキュラムとは異なることを行った方もいて、今後、実施する際の対象は「未経験者」とすることも検討する。今回の講座でも、講座から立ち上がった自主サークルのメンバーによる補助講師としてお手伝いをいただいた。

【計画】

○高齢者学級「けやき学級」

7月31日（水）に前半の最終回として懇親会を行った。前半の講座ベスト3の中で、今回、意外だったのは班活動がどの班も3位以内に入っていた。これは、班長の取りまとめが良かったことと、各班のメンバーのコミュニケーションがとられていることが挙げられる。今後の予定としては、8月21日（水）に野外学習「キッコーマンもの知りしょうゆ館見学」の実踏を行う予定。昼食はキッコーマン内で

の「もろみ弁当」を予約済み。また、昼食後、キッコーマンの全身である野田醤油株式会社の創設者の一人である、高梨本家花輪歴史館に訪問予定であるが、8月は休館となり実踏では訪問できない。9月の実施では、住宅部内覧コース（お茶付き）を特別、歴史館の方が手配していただける予定となっている。また、平成26年度の野外学習の行き先を8月19日（月）午後1時から打合せを行う予定。

○成人学校「江戸野菜に親しもう」

8月の作業は、夏時間として午前9時30分から11時30分までとなる。9月30日（月）には、野外研修として東京学芸大学の小俣先生が雑穀栽培を行っている山梨県小菅村を訪問する予定。この講座の講師継続に関する諸問題については、新しい講師の選定と調整を行うが、12月末までに講師候補者へ意志確認を行う予定であったが、予算編成前にも行う予定。

○成人学校「そば打ち体験」

マイクロバス予約の時期が3か月前となっていることで、第一候補日として11月14日（木）を予定。計画は2日間（1日は貫井南分館での講義、2日目はそば打ち体験）としていたが、1日で済ませることが可能か調整する。行き先は、山梨県道志村にあるそば打ち体験可能店舗を予定している。また、講師謝礼についても調整が必要となる。

5 その他

○月刊こうみんかん10月号で、今期初めての企画実行委員の感想を掲載予定。貫井南分館は大嶋委員に原稿提出（8月末まで）を依頼し、承諾を得た。

次回の日程 9月3日（火）午前9時30分～